



# 美しい田園21通信

美しい  
田園  
21

〒105-0004

東京都港区新橋 5-34-4 農業土木会館

**NPO 美しい田園 21**

Tel 03-3434-5056 Fax 03-3434-5057

メール [npo@denen21.jp](mailto:npo@denen21.jp)

問い合わせや活動報告はこちらへ

ホームページ <http://www.denen21.jp/>

最新情報や田園通信のバックナンバーはこちらから

## 目次

- |                           |        |
|---------------------------|--------|
| 1 大蘇ダム堤体周辺及び管理用道路の清掃活動に参加 | 九州支部   |
| 2 児島湾七区小学校の4年生に出前授業       | 中国四国支部 |
| 3 うしおの沢池農業用水・水源林保全活動に参加   | 中国四国支部 |

### 1. 大蘇ダム堤体周辺及び管理用道路の清掃活動に参加 九州支部

9月26日(火)に、九州農政局大野川上流農業水利事業所が管理している大蘇ダムの周辺と管理用道路の清掃活動に参加しました。

事業所では、大蘇ダム貯水池の浸透抑制対策に係る工事を進めているところですが、これまで造成したダム及びその関連施設、平川頭首工、揚水機場、ファーム Pond 等の施設も直営で行っています。

しかし、事業所職員のみでは管理している全ての施設について除草作業を含めた管理を行うには限界があるため、本年は事業所が広くボランティアの募集を行ったこともあり、熊本・大分両県、阿蘇市、産山村、荻柏原・荻西部両改良区などからの参加があり、総勢 127 名が集合しました。

作業開始に当たり、事業所長からの挨拶及び作業範囲や注意事項の説明があり、その後各団体に割り振られた作業場所で、道路脇樹木の伐採、除草、側溝の泥上げ等が開始されました。

九州支部から会員 33 名をはじめ、その他大勢の参加者が草刈り機、鋸、鎌、スコップ等を持ち寄り汗を流したところですが、幸い天候にも恵まれこともあり、約 2 時間の作業をけが人もなく終了することが出来ました。

右の 2 枚の写真は草刈り機を使った除草に汗を流す状況と、作業後の状況をほぼ同じ地点から撮影したものです。



### 2. 児島湾七区小学校の4年生に出前授業 中国四国支部

児島湾七区土地改良区、岡山県土地改良事業団体連合会、岡山市が 21 世紀土地改良区創造運動の一環として、岡山市立七区小学校の 4 年生 19 名が「既存する農業用施設を見学するとともに干拓の歴史等を学び、自分たちが住んでいる七区について知識を深める」との目的で、平成 29 年 10 月 3 日(火)に総合学習(出前授業)が実施されました。なお、この小学校は岡山市中心部に近く混住化が進んできており、非農家の児童も相当数いるとのこと。



出発前の児童への説明

この学習の説明者として本NPO会員の4名が説明を担当することとなりました。出前授業の前日は、どしゃぶりの雨でしたが、当日は天気も良く、関係者一同ほっとしました。なお、この出前授業は今年で11年目になります。

朝9時、校門の前に児童が整列し、担任の先生から本日の出前授業の目的と注意事項を聞き、児童たちは元気よくバスに乗り込みました。

NPOは、土地改良施設のうち、七区用排水機場・分水工ゲート・旧干拓堤防跡地・七区排水機場の4施設と干拓の歴史について、NPOが作成した説明用の資料「私たちの七区」や「パネル」を使い説明しました。

七区土地改良区理事長からは、七区の農地で生産される作物（米・千両なす・レンコン）や生産高及び用水機場と排水機場の役割を説明しました。特に、排水機場は、大雨や台風の時、土地改良区の人が24時間体制で運転し、地域のために貢献しているとの説明がありました。

児童たちは、施設それぞれの役割を聞き、施設の違いに感心していました。機場では、ポンプや除塵機を実際に動かして、施設が地域を守っていることを再確認しました。また、干拓の歴史は古く、江戸時代から行われていたことやポンプの大きさにびっくりするとともに、これらの施設を土地改良区の人たちが一生懸命に管理していることを学び、出前授業の成果は十分達成しました。

最後に、NPOから「食事には、お米をたくさん食べよう」と児童に呼びかけ、また、家に帰ったら、家族の人に、今日、習った事を教えてあげようをお願いしたら「分かりました」との返事が元気に返ってきました。

七区用排水機場での説明



旧七区排水機場のポンプ



七区排水機場での集合写真



### 3. うしおの沢池農業用水・水源林保全活動に参加 中国四国支部

平成29年10月19日(木)島根県雲南市大東町山王寺「うしおの沢池及び流域にある水源林」において、島根県土地改良事業団体連合会・沢池整備委員会の主催で関係者47名が参加して、ため池を中心に水源林保全活動を実施しました。

この取り組みは、農業用水の源である山林が間伐遅れ、手入れ不足等により水源林としての機能が著しく低下してきており、安定した農業用水を確保することが困難な状況になってきていることから、平成22年農林水産省のため池百選に選定された「うしおの沢池」周辺の水源林保全活動を実施し、農業用水の安定供給のための水源林の重要性の理解を深めていくことを目的として毎年行われています。

活動は、10:00～主催者のほか協力者（雲南農業農村整備推進協議会・島根県東部農林振興センター雲南県土整備事務所・大原森林組合・島根県農村災害支援協議会・島根県農村災害ボランティア・島根県農業農村整備推進協議会）が参加し、ため池周辺と植栽地の草刈り作業を約2時間行いました。

また、うしおの沢池周辺を地域住民と都市住民の憩いの場とした、水辺の森として整備する保全活動が7年前から行われており、いろいろな生き物がたくさん生息するように、ブラックバスを駆除し、テナガエビ、アマサギなどが放流されています。

今年の調査では、アマサギやジュンサイが確認される等保全活動成果が出ています。

作業前の集合写真



植樹区域の草刈り



管理道の草刈り



山王寺の棚田

